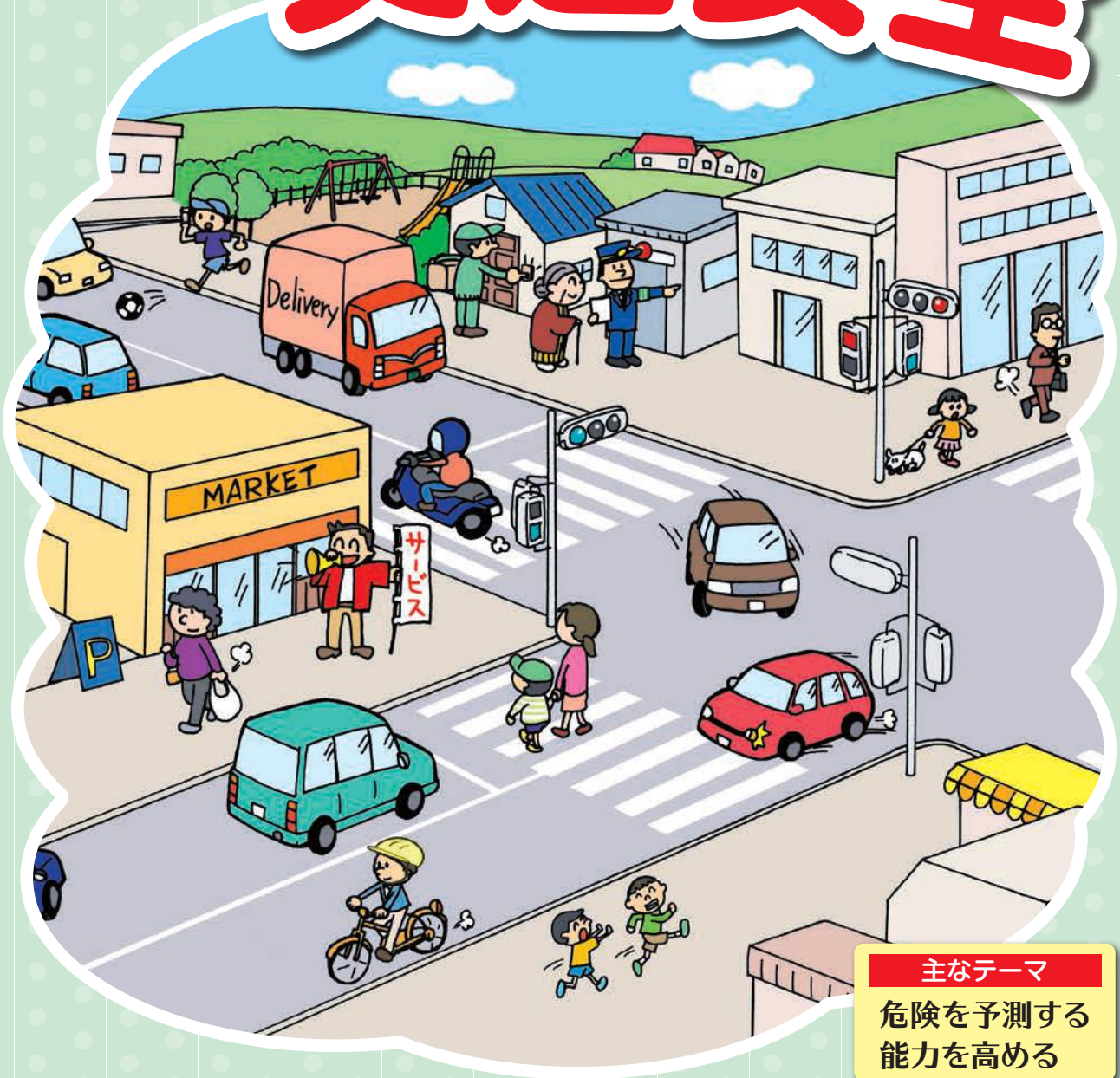


4年生の 交通安全



主なテーマ

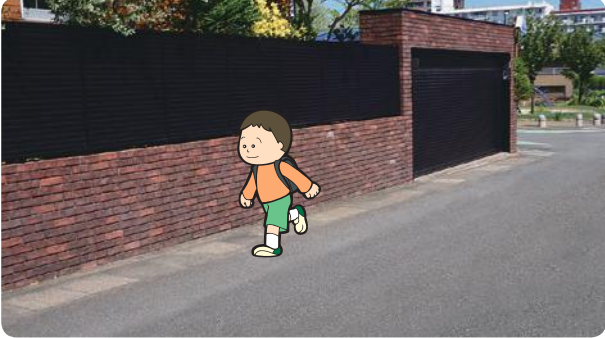
危険を予測する
能力を高める

みよし市・みよし市安全なまちづくり推進協議会

しっかり守れているかな？

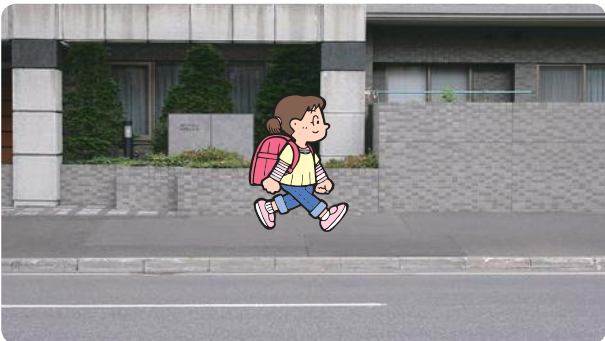
道路を歩くとき

①道路の右はしを通る



- 歩道がないところでは、道路右がわのできるだけ右はしによって歩きましょう。

②歩道を通る



- 歩道があるところでは、かならず歩道を通りましょう。
- 歩道を通っているときでも、前や後ろからやってくる自転車、歩道を横切る車に注意しましょう。

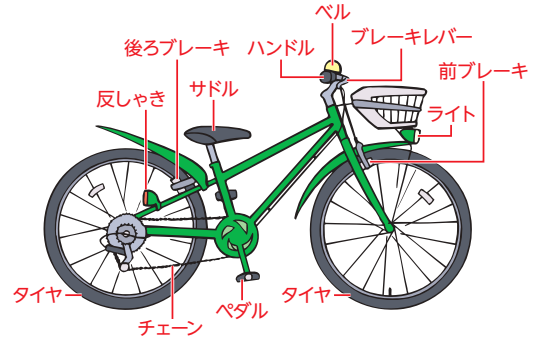
③道路では遊ばない



- 外で遊ぶときは、近くの安全な広場や公園などに行きましょう。

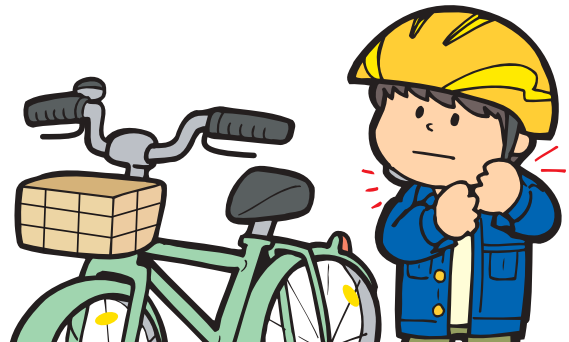
自転車に乗るとき

①自転車の点検をする



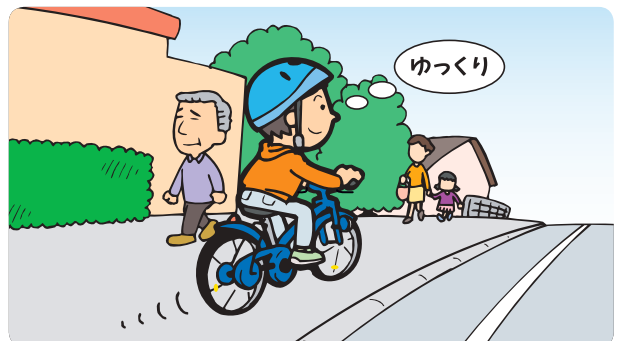
- ブレーキがきくか、タイヤに空気が入っているかなどを点検しましょう。

②かならずヘルメットをかぶる



- 転んだときや交通事故にあったときに、大事な頭を守るためです。

③できるだけ歩道を通る



- 歩道があるところでは、安全のため、歩道を通りましょう。ただし、歩行者の邪魔をしてはいけません。
- 歩道がないところでは、道路の左がわの左はしによって通りましょう。

歩いているとき、こんな行動はあぶない!

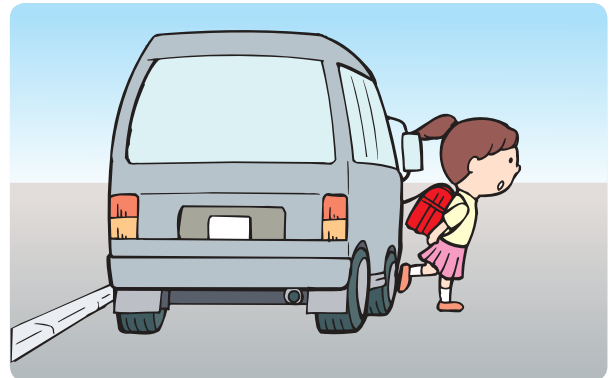
- 道路を歩くときには、交通事故をふせぐために決められている交通ルールを守らなければなりません。下の行動のうち、「道路へのとび出し」「車のすぐ前や後ろからの横だん」「横だん歩道のそばでの横だん」は、交通ルールできん止されている、とてもあぶない行動です。

1 道路にとび出す



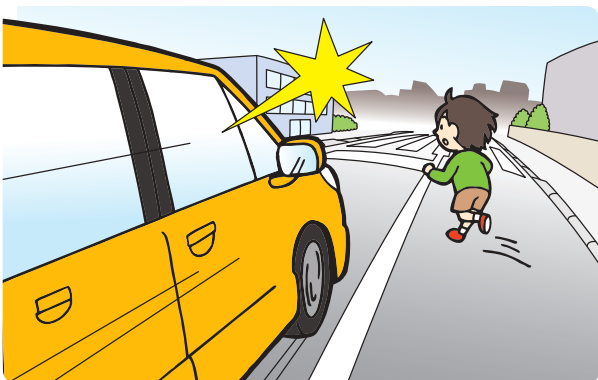
- 道路にとび出して交通事故にあう小学生がたくさんいます。
- 道路をわたるときは、一度立ち止まり、右左をしっかり見て、車が来ていないかたしかめましょう。

2 車のすぐ前や後ろからわたる



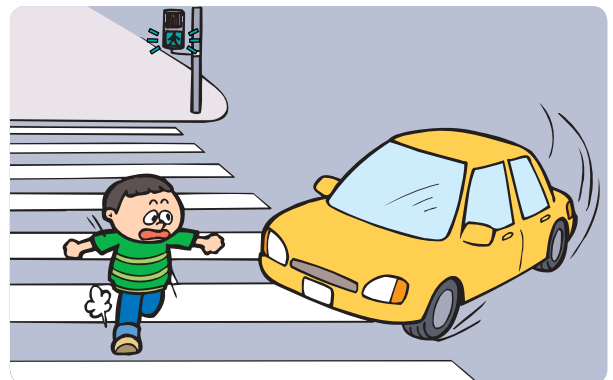
- 止まっている車の前や後ろ、通りすぎた車の後ろからわたると、交通事故にあいやすくなります。
- かならず、道路の右左がよく見通せる場所でわたりましょう。

3 横だん歩道のそばでわたる



- 車の運転手は、横だん歩道があるところでは、横だん歩道に気を取られ、その近くにいる歩行者を見落としやすくなります。
- 近くに横だん歩道があるときは、かならずそこに行ってわたりましょう。

4 青しん号だとまわりを見ない



- 交差点のしん号が青でも、交差点を曲がってきた車が横だん歩道を横切ります。
- 横だん歩道のしん号が青でも、車が曲がってこないかどうか、しっかりたしかめながらわたりましょう。

自転車に乗るときは、かならず守ろう！

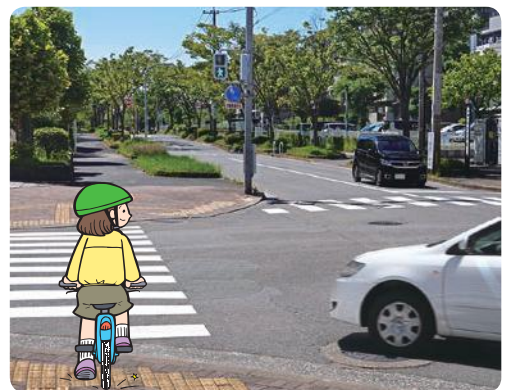
1 「止まれ」のひょうしきがあるところでは、かならず一度止まり、車が来ていないかたしかめよう！

- 「止まれ」のひょうしきは「車や自転車は、交差点に入る前に、ここで一度止まり、車などが来ていないかたしかめなければならない」という意味です。
- それなのに、一度止まらずに交差点に入った自転車が、車とぶつかる交通事故がたくさん起きています。
- 「止まれ」のひょうしきがあるところでは、必ず一度止まり、交差点の右左を見て、車などが来ていないことをしっかりたしかめましょう。



2 青しん号の交差点をわたるときでも、車が来ていないかたしかめよう！

- 青しん号の意味は、「進め」ではなく、「安全であれば進んでもよい」です。
- それなのに、「青しん号だから大じょうぶ…」と思いこみ、まわりをよく見ないで交差点をわたろうとして、交差点を曲がってきた車とぶつかる交通事故が少なくありません。
- しん号が青でも、「自転車に気づかないで曲がってくる車があるかも…」と考え、わたり始める前に交差点をよく見て、車が曲がってこないかしっかりたしかめましょう。

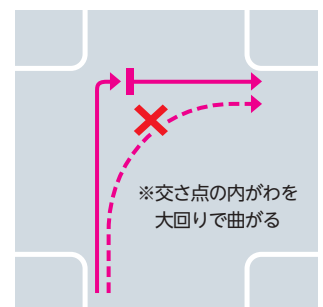
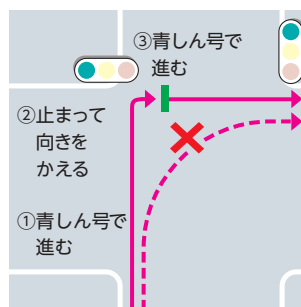


3 交差点を右に曲がるときは、大回りしよう！

- 交差点を右に曲がる時、一気に曲がると、交差点のかけから来た車や自転車、歩行者をよけられず、ぶつかることがあります。
- 交差点を右に曲がる時は、右の図のように、大回りしましょう。

信号がある交差点の場合

信号がない交差点の場合



進む向きをかえるときは、後ろから車が来ていないかたしかめよう！

歩くとき、自転車に乗るときに見るひょうしきの意味

歩行者通行止め



歩行者は通ることができません。

自転車通行止め



自転車は通ることができません。

車両進入きん止



自転車は、これより先に進むことができません。

自転車・歩行者せん用



自転車と歩行者だけ通ることができます。

歩行者せん用



歩行者だけ通ることができます。

自転車せん用



自転車だけ通ることができます。

歩行者横だんきん止



歩行者は、ここで道路をわたってはいけません。

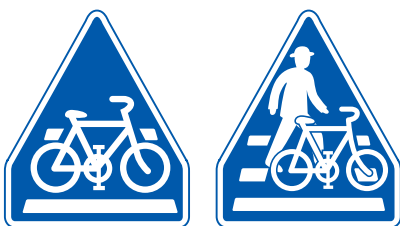


一時てい止



自転車は、ここで一度止まり、車などが来ていないかたしかめなければなりません。

自転車横だんたい



自転車は、横だんたいの部分わたらなければなりません。

一方通行



自転車は、矢じるしの方向にしか進めません。

自転車一方通行



自転車は、矢じるしの方向にしか進めません。

何があぶないか、考えてみよう!

- 1** 右から来ている車が通りすぎたら、道路をわたろうと思います。
このとき、何があぶないでしょうか?



あなたの考え

- 2** 自転車で歩道を通っています。前のしん号が青なので、
このまま横だん歩道をわたろうと思います。
このとき、何があぶないでしょうか?



あなたの考え

※答えは、さい後のページの下にあります。

もし自転車で、だれかにぶつかったときは…

すぐに、けいさつへれんらくしよう！

- 自転車で歩行者や他の自転車などにぶつかって、相手にけがをさせたり、自分がけがをしたときは、**だまってその場からいなくなっ**てはいけません。
- 近くに大人がいれば助けてもらい、すぐにけいさつへれんらくし、ひつようがあればきゅう急車をよびましょう。

けいさつにれんらくするときは…

110番へ電話！

きゅう急車をよぶときは…

119番へ電話！

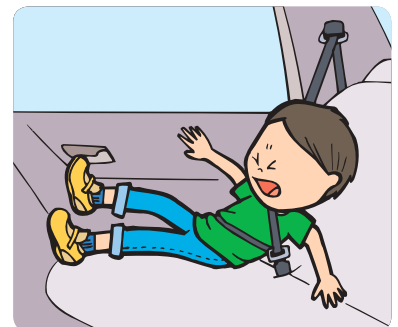
相手にたくさんのお金をしはらわなければならない場合も…

- ぶつかった相手にけがをさせたときなどには、「そんがいはいしょう金」というお金をしはらわなければなりません。
- 場合によっては何千万円、何おく円という、とてもたくさんのお金をしはらうこととなりますが、小学生がしはらうことはできないので、**お父さんやお母さん**など**ほご者**が代わりにしはらうこととなります。
- そうならないためにも、自転車の安全な乗り方をしっかり守りましょう。

車に乗ったらシートベルトをしよう！

身長150センチにならないうちは、ジュニアシートを使おう！

- 車に乗っているときは、どのせきでもシートベルトをしなければならないというルールがあります。小さいときはシートベルトの代わりにチャイルドシートやジュニアシートを使っていたでしょうが、小学4年生になった今は、もうシートベルトをしているという人が多いかもしれません。
- ところが、シートベルトは身長150センチよりも大きい人に合うように作られており、それよりせのひくい人がシートベルトをすると、**交通事こや急ブレーキ**をかけたときに、ベルトが首に引っかかりたり、ベルトから体がすりぬけたりして、**実はとてもあぶない**のです。
- 身長が150センチよりも大きくなるまでは、ジュニアシートを使いましょう。



■歩行中の子どもの安全を確保するために…

- 子どもが道路の安全な横断の方法をしっかりと実践できるようになるまで、繰り返し教えましょう。
- 道路で危険な行動をした場合は、その行動がなぜ危険かを説明し、そのような行動をしないよう指導しましょう。
- 登校するときは、忘れ物に気をつけ、時間に余裕をもって早めに家を出るようにさせましょう。
- 外出するときは保護者に行き先を告げるようにさせましょう。
- あまり遠くへ行ったり、暗くなるまで遊んだりしないようにさせましょう。

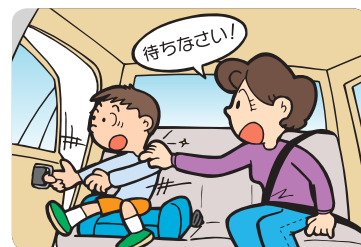


■自転車を利用する子どもの安全を確保するために…

- 子どもに自転車を利用させるときは、子どもの体格に合った自転車を選び、乗車用ヘルメットを着用させましょう。
- 自転車を利用させる前に、子どもと一緒に自転車の点検をしましょう。
- 自転車に乗る練習は、道路以外の安全なところでさせましょう。
- 正しい乗り方を習得するまでは、自転車で道路を通行させたり、保護者の目の届かないところで練習させたりしないようにしましょう。
- 交通ルールを守らないで自転車に乗るのは危険—ということを、しっかり理解させましょう。
- 夜間はライトをつけるよう指導しましょう。
- 自転車で歩行者の通行を妨げないようにさせましょう。
- 自転車で交通事故を起こしたときや、交通事故に遭ったときに備えて、自転車保険に加入しましょう。

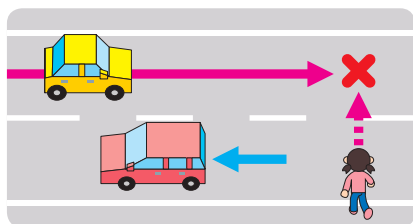
■自動車に乗せた子どもの安全を確保するために…

- 子どもが自動車に乗るときは、シートベルトを着用するか、身体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して後部座席に乗車するようにさせましょう。
- 子どもが自動車から降りるときは、周囲の安全を十分に確認してからドアを開け、道路にとび出さないように指導しましょう。



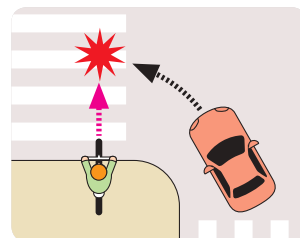
1の答え

- 右から来た車が左へ通りすぎると、その車のかげに、左から来た車がかくれて見えなくなるため、すぐにわたり始めると、**左から来た車とぶつかる**ことがあります。



2の答え

- 歩道からいきなり車道に出て横だん歩道をわたろうとすると、交差点を曲がってきた車の運転手が自転車を見落として、**自転車と車がぶつかる**ことがあります。



保護者の方へ

- スマートフォン等で右の二次元コードを読み取ると、この冊子の理解がより深まる動画が視聴できます。



※答えはこれだけではありません。自分で考えたあぶないと思うことにも注意しながら通らしましょう。